



ご挨拶

東京笹川会 会長  
竹内 宏夫

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆さまには、ご家族さまともども、健やかに新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。

昨年は、東日本大震災、福島原発事故という未曾有の大震災と大事故が発生し、会員の皆さんの中にも、親戚や友人、知人の方で、被災された方もあろうかと思ひます。一日も早い復旧、復興を心よりお祈り申し上げます。

さて、昨年の東京笹川会の活動も、五月の総会をはじめ、ささ郷だよりの発行、笹川友愛会旅行、笹川盆踊り大会への参加と、特に目新しい活動はございませんが、皆さまのご協力により、無事進めることができました。

本年も、同じ内容での活動になろうかと思ひますが、故郷笹川との連携をはかりながら進めてまいりますので、皆さまのご協力をよろしくお願い申し上げます。

今年も、会員の皆さまとご家族さまにとって、幸多き一年になるようご祈念申し上げまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。



ご挨拶

笹川自治振興会 会長  
竹内 康博

明けましておめでとうございます。

東京笹川会の皆様にはつつがなく新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。皆様には昨年も地区の行事などに大変ご協力を頂き誠にありがとうございました。

おかげさまで復活3年目の「秋祭り盆踊り」などは賑やかさを増し他の行事にも弾みがついて来たような気がします。本当にありがとうございます。嬉しい話題のもうひとつは、地区へ若いご家族が1組転入され、ご近所や周りの方々と楽しく暮らしておられる事です。(今号ライフスタイルの項ご参照下さい。)

さて、今年は「辰年」と言うことで何かいい年になればと願っておりますが、それよりもあんな大惨事のない、国中平穏な1年こそが望まれるところです。

地区では、昨年より諏訪神社の整備をしようと考えておりました。地区の安全や安泰を守る笹川の「宮」も築130年以上にもなり、特に屋根瓦のふき替えが必要となっております。

昨今、笹川は「木曾義仲」「宮崎太郎党」「長井党」ゆかりの地色濃く、笹川の「宮」は新しい朝日町の歴史遺産として見直され、訪ねる人も増えております。(故 竹内俊一さんの功績です。)

この機会にご神木の整理や見やすい案内看板設置など周辺の整備もしながら、難しい状況ではありますが地区の安全祈願や繁栄の心の拠り所としてなにかと祀っていきたくと思ひます。

皆様にも故郷の宮として、いつまでもご愛顧をお願いしたいと思ひます。その節は又、よろしくお願い致します。

結びになりますが、東京笹川会の皆様には今年もご健勝で幸多からんことを心からお祈りして年頭のご挨拶とさせていただきます。

笹川友愛会

笹川友愛会旅行のご案内

恒例の笹川友愛会旅行は、今年は暖くなる4月に行われことになりました。ふるってご参加下さいますようお願い申し上げます。

日時 平成24年4月16日(月)~17日(火)  
1泊2日

場所 群馬県 磯部温泉

費用 東京笹川会の方  
男性 18,000円、女性 17,000円  
および、現地までの往復交通費

お申し込み(東京笹川会の方は)  
2月末日まで、電話にてご連絡下さい。  
参加者には別途詳細日程表など送付致します。

竹内 宏夫 090-2643-4233  
長井 清武 090-8728-6414

昨年(諏訪神社・下呂温泉)の様様



諏訪神社参拝



下呂温泉・宴会での余興

一笹川特産品振興事業一

実バラの収穫

特産品振興事業では昨年、実バラの収穫、丸イモの収穫がありました。

現在はまだ実験栽培なので今回の収穫を基に今後の栽培方法などを検討して行くとのことです。



刈り取り作業



葉、トゲの除去、および整形作業



「みな穂農協フェア」や、「笹川文化祭」に出品ところ好評で完売となりました。

(写真提供 深松誠さん)

今冬は、昨年12月9日に初雪が降り、年末の寒波来襲による降雪後、根雪となりました。写真左側3枚は12月28日、南保富士山頂に設置したライブカメラで撮影したものです。



広角撮影



望遠撮影 1



望遠撮影 2 二ヶ堂橋~JA付近



1月14日 共生の里 固定カメラから

ライフスタイル

「全国津々浦々～笹川に来て半年」

谷内 浩 さん (中央町内会)

新潟から関東、鹿児島を経て再び関東、そして縁もゆかりも無い？と思われる富山県に移住して半年になります。今から十数年前、長い学生生活が終わると故郷を遠く離れて鹿児島に渡り、陶芸家を目指しながら南国の暑い島で5年ほど暮らしました。その時の島は人口が160人位だったので、今の笹川の人口よりも少ないと思います。

島というのは独特で、四方を海に囲まれているために人の出入りがとても少なく、文化や風習も本土の日本と随分異なります。自然は豊かですが厳しく、時期には台風がしばしば直撃します。人口が少ないので老若男女全ての島民が日々活躍し、そのため一人残らず全員知り合いです。

そんな過酷で美しい島を出たあと、埼玉や東京都内で勤務し、それまでの島とは全く異なる世界に浸り、その便利で快適な生活を楽しみつつも、やはり島生活を乗り越えてきた身にとっては、常に何か物が足りない…という心のどこかにある自然の風景を慕う気持ちを払拭することが出来なかったのです。



そんな中、鹿児島で知り合った友人が2年前に笹川に移住したことがきっかけで度々笹川を訪れるようになり、そしてまた多くの笹川の方々のお世話の下、お陰様にてあつという間に笹川移住が進みました。

さて、新潟出身の私にとって、富山県というのは隣県でありながら、過去に訪れたのは百河豚美術館や五箇山などを訪れた数回のみで、さて富山県について印象が深いわけではなかったというのが正直なところでした。しかし今となっては、仕事の都合上少なくとも定年までは(現在私は38歳)富山県にお世話になることになり、また先日新潟の実家の父と話していたところ、どうやら我が家の家系は元々富山県人であるということがわかってきたのです。そうなればなるほど、これまで様々な地域を住み歩いてきたけれど、縁が無いどころか、もしかしたら自分のルーツである元の位置(富山)に戻ったという訳かと妙に納得がいったのでした。



ところで様々な地域で暮らして感じることに、高齢化に関わらずその地域が元気かどうか(地域に未来の可能性はあるか)ということをおう個人的な指針として、「その地区独自の祭りや伝統芸能保存に力を入れているか否か」というのが挙げられます。

どんなに行政が頑張っても、地元住民が汗を流して自分の地区を守らない限り、非情にも高齢化で寂しくなる一方という地区を過去に多く見てきました。

笹川に移住して半年間、多くの祭りや催し物を拝見させてもらいましたが、そういう点で笹川はとても未来が明るいと感じました。好きな笹川を自分たちの手で今もこれからも創っていくという強い意思が感じられるからです。そうであれば、高齢化も人口減少も関係ないと思います。

これからも皆さんで笹川を盛り上げていきましょう。



写真 本人書道作品

家族構成  
夫婦  
小学生 一人

北アルプス 朝日小屋情報(概要)

詳しくは、【<http://www.asahigoya.net/>】

・営業期間 6月下旬から10月中旬

・ご予約  
山小屋ですので、予約なしでもご宿泊いただけますが、ぜひ電話でのご予約を！！

お部屋割りや、ご予約の順番とさせていただきます。単独の方、少人数のグループでも、ぜひご予約ください。ご予約の受付は、前日でも構いません。場合によっては、当日朝でも。キャンセルは、必ずお電話で。キャンセル料金は発生しません。

ご予約の際には以下の事項を確認させていただきます。

1. 宿泊日
2. 代表者氏名
3. 代表者連絡先電話番号
4. 簡単な住所(都道府県名のみ)
5. 人数
6. 行程(前泊地・登山口、次の目的地/下山口)
7. 食事の有無(夕食・朝食・弁当について)

ご予約連絡先  
TEL 0765-22-1972 (朝日小屋)  
TEL 0765-83-2318 (朝日小屋連絡所、開設期間外)

・宿泊料金(下記は平成23年度の料金です。今年度の料金についてはご予約時ご確認願います。)

1泊2食	9,000円(税込み)
1泊夕食付き	8,000円(税込み)
1泊朝食付き	7,300円(税込み)
1泊2食(小学生以下)	8,000円(税込み)
素泊まり	6,300円(税込み)
弁当	1,000円(税込み)

テント場 50張り 水場、トイレ有り  
使用料 1人1泊 500円

・北又小屋へのタクシーの運行について

北又林道は一般車両通行禁止です。車ご利用はタクシーをご利用ください。

タクシーの予約は、朝日小屋からも可能です。運行期間は、6月第4土曜日から10月末日まで。

昨年度は、北又林道におけるタクシー利用に助成金が、朝日町より朝日町体験型山岳観光振興事業として出ていました。今年度は現在のところ未定です。登山計画の前に朝日小屋等に電話にてご確認下さい。

・朝日岳への登山ルート(例)

《小川温泉から北又小屋を経由して朝日岳》

小川温泉 3:40(徒歩) 北又小屋 2:30 ブナ平 2:00 恵振山 1:30 夕日ヶ原 0:50 朝日小屋 1:00 朝日岳

朝日岳 0:50 朝日小屋 0:30 夕日ヶ原 0:50 恵振山 1:40 ブナ平 1:30 北又小屋 3:00(徒歩) 小川温泉

(小川温泉～北又小屋 タクシー利用の場合は、0:40)

ライフスタイル

自然とのふれあい

北アルプス 朝日岳の魅力

折谷 かほる さん (繁次郎)  
水島 由紀子 さん 宮崎

北アルプス 朝日岳およびその周辺は湿地帯や凄烈な水にも恵まれて高山植物が豊富なことで良く知られていますが、朝日岳での一番のお勧めは朝日小屋に2泊し、アヤマ平までゆっくりとした花道遊の山歩きではないかと思っています。朝日小屋～朝日岳頂上～アヤマ平の往復は7～8時間ぐらいの行程ですから少し体力もいりますが。



これまでも自分一人あるいは一緒に登ったことがありましたが、花の最盛期とズレていたりしたため、昨年7月24日～26日の予定でゆっくり3人で花を撮しながら山を歩こうと計画し朝日岳およびアヤマ平に行ってきました。

【7月24日】

同級生(由紀子の)の登山仲間と同行し、朝日小屋を目指しました。朝日小屋では、この同級生に合流するため白馬岳から縦走してこられた長井清武さんとも一緒に楽しく盛り上がりました。



朝日岳・朝日小屋への思い

【かほる】

私が朝日岳に最初に登ったのは、昭和33年(高校3年生)の時、今からもう54年前になります。笹川の有志の方々と一緒でした。(右写真)

2回目は、小川中学校に勤務していた昭和55年(29年前)、生徒達と北又～朝日岳～蓮華温泉コースを辿りました。当時、小川中学校では、立山(1年生)、白馬岳(2年生)、朝日岳(3年生)への登山が恒例行事となっていたのです。

現在も、朝日中学校では毎年、2年生が朝日岳に登山していますが、郷土の山を愛する教育が今も受け継がれていることを誇りに思っています。

【由紀子】

私が朝日岳、朝日小屋に魅せられ通い始めるようになって30数年、小屋通いも100回を超えてしまいました。

きっかけは、先代の朝日小屋管理人・下沢三郎さん(現在の管理人、清水ゆかりさんのお父さん)から“朝日小屋にこんか”と誘われたのを機に50歳で32年間勤めた職場を退職し、山小屋の生活に飛び込んでみました。

6月から10月までの1シーズンを山で過ごすと言うことは、自然とのふれあいや沢山の人達との出会いがあつて何事にも代え難い素晴らしいものでした。

ゆかりさんが管理人になられてからも、少しでもお手伝いが出来ればと小屋通いを続けさせて貰っています。(本当はもう足手まといになっているのですが)

そして、沢山の高山植物を見るたびに、この景色を大勢の人達に見せてあげられたらと思っています。

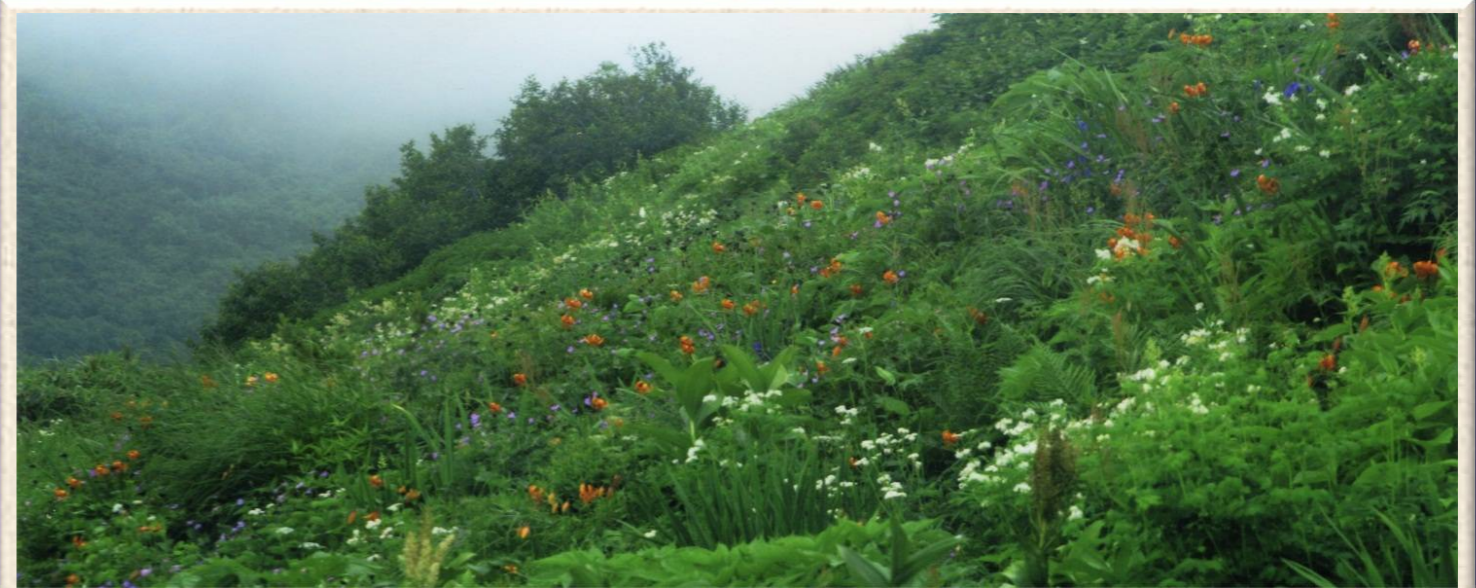
(下記写真のもう一人の方は、光主ちいさん(宮崎在住)です。彼女は、20歳の時に女4人でテントを担いで朝日岳～白馬岳を縦走した仲間(同級生)です。)

【7月25日 アヤマ平へ】

今日も良い天気にも恵まれました。昨日同行した同級生の皆さんと朝日小屋の前でお別れし、ゆっくりのんびりと私たち3人だけの山を満喫することが出来ました。

目的地のアヤマ平に到着し沢山の花を目にしたとき3人の口から「ワー」と歓声が上がりました。何回行っても、その都度新しい花たちとの出会いがあります。

花を眺めながら食べたおにぎりのおいしかったこと！少しでもその感動をみなさんに伝えたく筆を取った次第です。



ウラジロヨウラク リュウキンカ コイワカガミ ハクサンコザクラ



チシマキキョウ オオサクラソウ シナノキンバイ シモツケソウ



コバイケイソウ ヨツバシオガマ ヒオウギアヤメ



オオサクラソウ タカネバラ ハクサンフウロ トリカブト ミヤマリンドウ

【あとがき 由紀子】

かほるさんと協同で、ささ郷だよりの寄稿依頼を受けたとき、私は笹川の住人(宮崎出身・在住)では無いので躊躇しましたが、昔は笹川と宮崎は宮崎村で一つだったことを思い出し、大好きな笹川の方々のお仲間入りをさせて頂きました。これからもよろしくお願ひ致します。

(編者:朝日小屋情報は、2頁に載せてあります。)

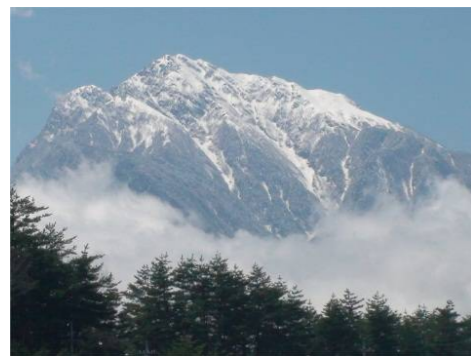
【ふる里へ行き交う路】

長井 清武 相模原市 (清左衛門)

私は神奈川県相模原市に住んでいます。  
 ふる里への帰省は、殆ど自家用車で往復します。  
 経路は、自宅～八王子IC～(中央高速道)～豊科IC～R306:北アルプス・パノラマロード(R147をバイパスします。)～大町～(R31:山間部道路)～白馬町～(R148)～糸魚川～(R8)～泊～自宅です。  
 距離は、約350Km、所要時間は、休憩時間を除くと約4時間なので電車などで行くよりはるかに短時間で行くことができます。  
 中央高速道の八王子IC～豊科IC約190Km以外は一般道ですが、北アルプス・パノラマロード、山間部を通るR31およびR148は信号機が少ないので渋滞もなく快適なドライブとなります。  
 これらの一般道の多くは、長野オリンピック開催に先駆けて、また1995年7月の集中豪雨で寸断された道路が整備されました。  
 特に、白馬～糸魚川までの狭くて難所の多かった道路に数本のトンネルが出来た事によりすごく走りやすくなりました。整備が遅れていた北小谷付近の道路の拡幅が完了(多分、昨年12月末に完了)すれば冬季でも問題なく通行出来るようになると思います。

私がこの路が好きなのは、10代後半から始めた登山が発端なのかも知れません。  
 笹子トンネルを過ぎ甲府に入ると左手前に南アルプスの山々が見えてきます。葎崎辺りから見える甲斐駒ヶ岳の眺望は圧巻です。とっていると右手前には、美しく穏やかな山並みの八ヶ岳連峰が見えてきます。

甲斐駒ヶ岳 (2988m)

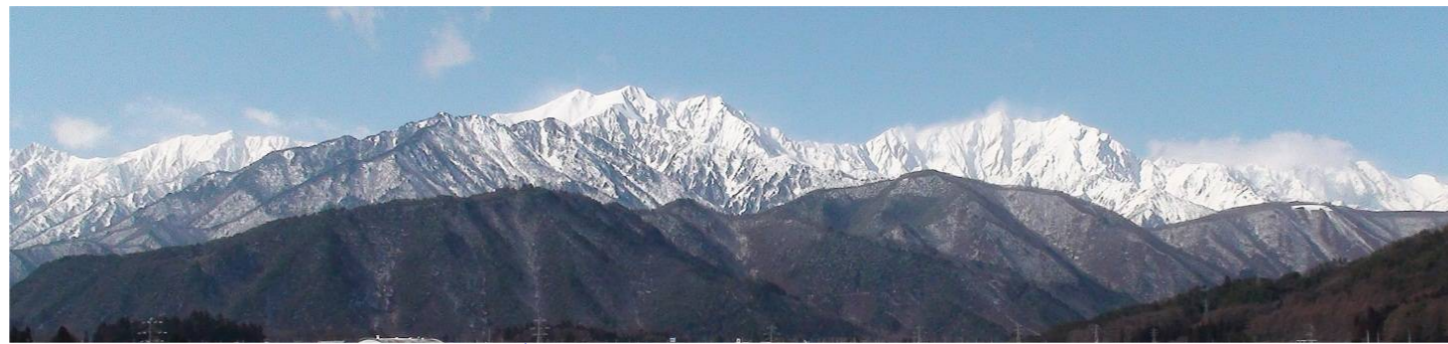


北岳 日本第二の高峰 (3193m) 頂上部しか見えません。



朝焼けの八ヶ岳連峰 (右寄りの凸部が主峰・赤岳 (2805m))

岡谷トンネルを過ぎ松本に出ると、左手前に北アルプスが見えてきて白馬町を過ぎるまで延々と続きます。  
 あの山はいつ、誰と登ったかな～、  
**山想えば 人恋し 人想えば 山恋し** (大町の登山案内人 百瀬晋太郎氏の言葉)  
 この言葉と当時を思い出しながら走っています。



《大町からの後立山連峰の眺望》

左端のとんがった山は、針ノ木岳 (2821m) この麓に大町側からの立山への入り口である扇沢があります。  
 鹿島槍ヶ岳、爺ヶ岳 五龍岳 八方尾根



鹿島槍ヶ岳(2889m) 爺ヶ岳(2670m)

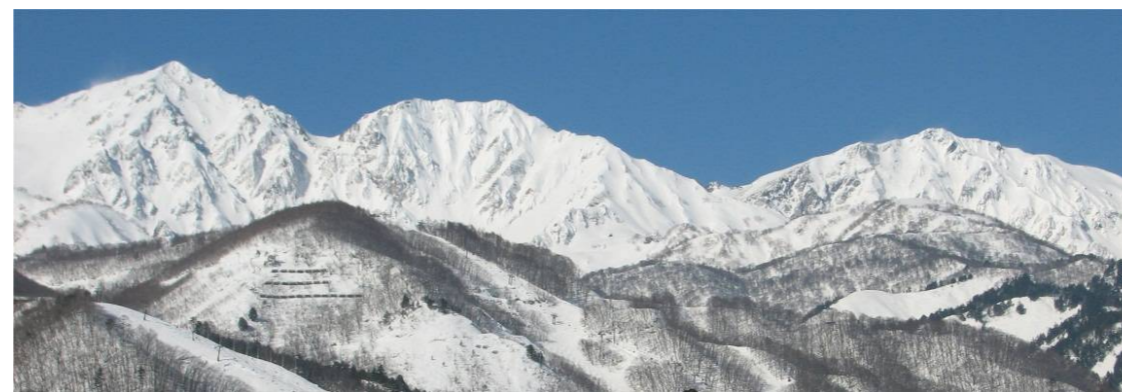


五龍岳(2814m)

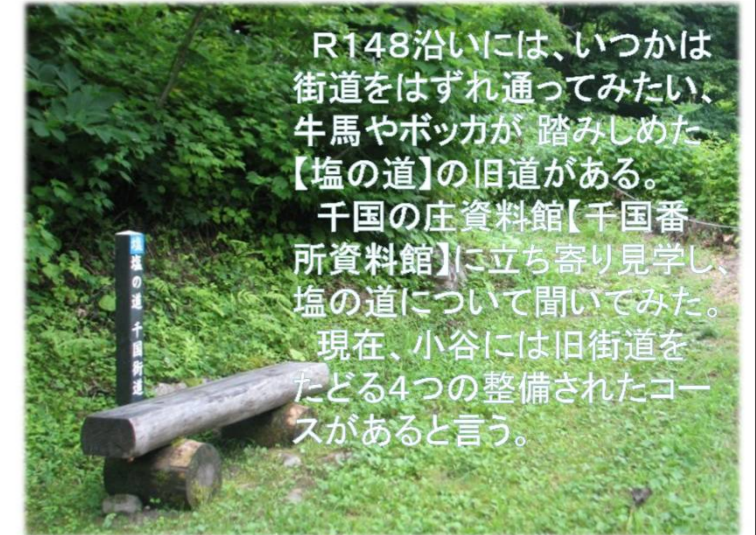


《信濃森上からの後立山連峰の眺望》

爺ヶ岳 五龍岳 八方尾根 八方キレット  
 右側に行くと白馬三山(下の写真)へ。更に北東に進むとふる里の山朝日岳へ、そして日本海まで登山道が続きます。手前の建物は、【喫茶店 ぷう】で、ここで山々を眺ながら一休み。



鎌ヶ岳(2903m) 杓子岳(2812m) 白馬岳(2932m)



R148沿いには、いつかは街道をはずれ通ってみたい、牛馬やポッカが踏みしめた【塩の道】の旧道がある。  
 千国の庄資料館【千国番所資料館】に立ち寄り見学し、塩の道について聞いてみた。  
 現在、小谷には旧街道をたどる4つの整備されたコースがあるという。

- ・かつて5m余の豪雪や急坂に難渋を極めた
- 1. 地藏峠コース
- 2. 大綱峠コース
- ・昔の街道の面影が色濃く漂う
- 3. 千国番所・牛方宿・親坂コース
- ・暴れ川の異名をとった姫川を避け、山腹を細々と続く
- 4. 天神道コース
- 「道祖神の写真の撮りたいのだが」と聞いてみところ、
- 3. 千国番所・牛方宿・親坂コースにある馬頭観世音と、前山百体観音を教えて貰った。



馬頭観世音 牛馬を大事にしていたことが忍ばれます。



前山百体観音 (現有は80余体)

糸魚川からR8を通過して泊へ



【親知らず 子はこの浦の 波枕 越路の磯の あわと消えゆく】  
 平頼盛の夫人



【一つ家に 遊女も寝たり 萩と月】  
 芭蕉句碑 市振 長蘆寺

【わせの香や 分入る右は あり磯海】  
 芭蕉句碑 元屋敷

